

○旅客施設（駅等）、バス、船舶のバリアフリー化状況（令和2年度末時点）

			目標	全国	北陸信越	新潟	長野	富山	石川
鉄 軌 道	鉄軌道駅	導入比率 (%)	100	95.0	84.5	77.3	85.0	100	87.5
		(導入数/総数)		(3,090/3,251)	(49/58)	(17/22)	(17/20)	(8/8)	(7/8)
バ ス	バスターミナル	導入比率 (%)	100	94.4	100	100	100	—	—
	(導入数/総数)			(34/36)	(2/2)	(1/1)	(1/1)	—	—
	ノンステップバス(乗合バス)	導入比率 (%)	70	63.8	49.8	47.0	31.9	75.3	65.2
	(導入数/総数)			(29,489/46,226)	(1,046/2,101)	(381/810)	(191/599)	(168/223)	(306/469)
船 船	旅客船ターミナル	導入比率 (%)	100	100	—	—	—	—	—
	(導入数/総数)			(8/8)	—	—	—	—	—
	旅客船	導入比率 (%)	50	53.3	39.1	38.5	0.0	37.5	100
	(導入数/総数)			(356/668)	(9/23)	(5/13)	(0/1)	(3/8)	(1/1)

- ※ 「鉄軌道駅」「バスターミナル」「旅客船ターミナル」は、1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上の施設を対象とし、うちバリアフリー法に基づく移動等円滑化基準第4条（移動等円滑化された経路）に適合する施設の導入比率を掲載したものである。
- ※ 新幹線が乗り入れている在来線の駅であって、在来線の駅を管理する事業者が新幹線の駅も管理する場合、当該在来線の駅に新幹線の駅も含み全体で1駅として計上している。（相互に乗り換えするとき改札口を出て共用通路を通行しなければならぬ駅を除く。）新幹線の駅と在来線の駅を別々の事業者が管理する場合は、別駅として計上している。
- ※ 2以上の事業者の路線が乗り入れる駅であって、事業者間の乗換改札口が設けられておらず、改札内で相互乗換ができる場合は、全ての事業者の駅を含めて全体で1駅として計上している。この場合、代表して1事業者に当該駅を計上している。
- ※ ノンステップバスの対象車両数は、乗合バス総車両数から移動等円滑化基準適用除外認定を受けた車両を除いた数としている。
- ※ 網掛けは、全国平均以上のものである。

○鉄軌道の段差が解消されている駅（令和2年度末時点）

新 潟 県	JR 東日本	長岡駅、新潟駅、新発田駅、豊栄駅、見附駅、東三条駅、新津駅、荻川駅、亀田駅、内野駅、新潟大学前駅、小針駅、寺尾駅、関屋駅、白山駅	(15 駅)
	えちごトキめき鉄道	高田駅、直江津駅	(2 駅)
長 野 県	JR 東日本	軽井沢駅、佐久平駅、長野駅、茅野駅、上諏訪駅、下諏訪駅、岡谷駅、塩尻駅、広丘駅、松本駅、篠ノ井駅、今井駅	(12 駅)
	長野電鉄	長野駅、須坂駅、	(2 駅)
	しなの鉄道	上田駅、屋代駅、豊野駅	(3 駅)
富 山 県	JR 西日本	富山駅	(1 駅)
	富山地方鉄道	電鉄富山駅	(1 駅)
	黒部峡谷鉄道	宇奈月駅	(1 駅)
	富山市	富山駅停留場（富山駅南北接続線）	(1 駅)
	あいの風とやま鉄道	高岡駅、小杉駅、富山駅、魚津駅	(4 駅)
石 川 県	JR 西日本	金沢駅、小松駅、松任駅、西金沢駅	(4 駅)
	北陸鉄道	北鉄金沢駅	(1 駅)
	IRいしかわ鉄道	東金沢駅、津幡駅	(2 駅)

- ※ 令和2年度の一日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上で、バリアフリー法に基づく移動等円滑化基準第4条（移動等円滑化された経路）に適合している鉄軌道駅を掲載したものである。